

参加登録票

ご提出先 F A X : 03-5261-7075
メールアドレス : info@apako-news.com

※会場整理の関係上、事前参加登録制とさせていただきます。
※参加費は当日受付でお支払いください。
※複数参加の場合は、恐れいりますが、コピーを取りお申し込み下さい

申込み締切日
11月29日(金)

(ふりがな)		所属 (会社・団体・学校)	
※お名前		どちらかに○を付けてください。	
〒□□□-□□□□ ご住所 都道府県 市区町村		・社会人 (職種 :) ・学生	
ご連絡先		どちらかに☑を付けてください。	
TEL		<input type="checkbox"/> サミットのみ参加 <input type="checkbox"/> サミット+懇親会	
E-Mail			

◆参加費

2,000 円 (税込)

学生の参加は無料ですが、必ずご登録ください。
先着 100 名まで・お名前・学校名・学年・
連絡先明記/懇親会参加の場合は 2,000 円

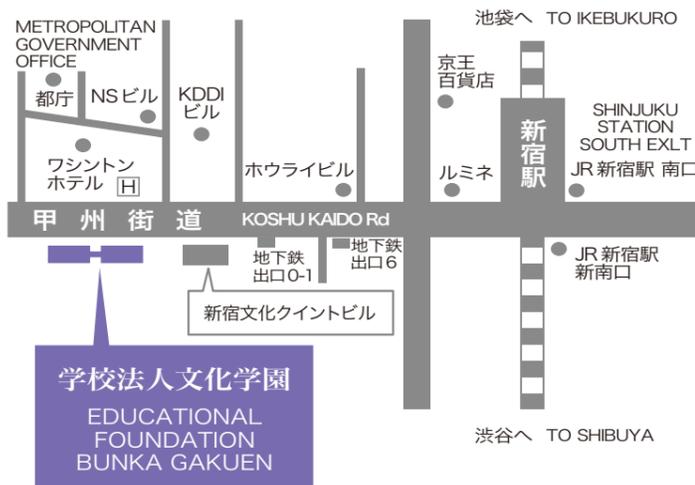
◆申し込み締切

11月29日(金)

※開催準備のため、締め切り経過後の
申し込みは受け付けできませんので
ご注意ください。

サミット終了後に登壇者、参加者、関係者が集う
懇親会を予定しています。参加費 2,000 円 (税込)

会場アクセス



学校法人文化学園 20階Aホール

〒151-8523 東京都渋谷区代々木 3-22-1

JR (山手線・中央線・総武線・埼京線・湘南新宿ライン)、
小田急線、京王線、都営新宿線、都営大江戸線、丸ノ内線、
西武新宿線 新宿駅下車 新宿駅から徒歩で約8分
JR 新宿駅南口より、甲州街道に沿って初台方面へ徒歩8分

目指せ世界!!

日本発のものづくり

第10回 全国アパレルものづくりサミット

2024年12月7日(土) 午後2時~5時
(開場:午後1時)

学校法人文化学園 20階Aホール
参加費2,000円(学生無料※先着100名まで)
懇親会:午後5時半~7時/文化学園食堂/別途参加費2,000円

「日本発ものづくり提言プロジェクト」実行委員会 主催
委員: 稲荷田征 (文化ファッション大学院大学名誉教授)、久米信行 (久米繊維工業相談役)、
森奥信孝 (岩手モリヤ社長)、近藤繁樹 (日本アパレル工業技術研究会会長)、佐藤正樹 (佐藤繊維社長)

事務局/(株)アパレル工業新聞社内

〒162-0822 東京都新宿区下宮比町2-28 飯田橋ハイタウン1001号
TEL. 03-3513-7931

全国アパレルものづくりサミットが10回目を迎えます。

このサミットでは日本のものづくりの復権、メイド・イン・ジャパンの強みや素晴らしさを訴えてきました。

しかしながら、衣料品の輸入浸透率は過去最高の98・5%と高い水準のままです。また国内は出生率が1.2%と過去最低を更新しているように少子高齢化が進み、マーケットの大きな伸びは望めません。日本国内に高品質・高感度の商品を提供するのが大切であることはいうまでもありませんが、これからは世界のマーケットにも目を向ける必要があります。

海外の高級ブランドは日本の高付加価値のテキスタイルを求めています。「J∞QUALITY」がイタリア・フィレンツェで開かれているピッチェイ・イマジネ・ウオモに出展し、実際に受注を得るなどの成果を出しています。日本の「ものづくり」は世界に通用することが証明されています。

今回は「**目指せ世界！日本発のものづくり**」をテーマに、メイド・イン・ジャパンの「出口」戦略を考える機会にします。

最初に、繊維業界で「特定技能」への移行が本格化するのを機に、人権、環境など世界に進出する企業の条件や課題について基調講演を行います。

続いて、世界のマーケットを相手に行っている企業やこれから取り組もうとしている方々にご登壇いただき、パネルディスカッションを行います。

主催する「日本発のものづくり提言プロジェクト」実行委員会の実行委員、事務局をはじめ、これまでサミットに登壇いただきました企業、サポートスタッフの方々はボランティアで協力していただきました。みなさん、日本のものづくりに熱い思いを抱いてサミットを盛り上げてきました。

新たなステージに向けて、ぜひ、みなさま方のご参加をお待ちしています。

(1) 最新版「Jクオリティ」動画

協力一般社団法人日本アパレルファッション産業協会
「J∞QUALITY」特別事業

(2) 基調講演

SDGsと人権対応―
特定技能への繊維業の業種追加を踏まえて

(3) 3社のプレゼンテーション(順不同)



株式会社エミネント
代表取締役社長
高野 圭右氏



古橋織布有限会社
代表取締役
古橋 佳織理氏



株式会社ミヤモリ
代表取締役社長
宮森 穂氏



日本繊維産業連盟
副会長・事務総長
富吉 賢一氏

(4) パネルディスカッション(順不同)

「世界にないもの」を追求するニットメーカー



佐藤繊維株式会社
代表取締役社長
佐藤 正樹氏

いち早くニューヨークのデザイナーと取り組む



有限会社ファッションしらいし
代表取締役社長
白石 正裕氏

Jクオリティ・ファクトリーブランド・プロジェクトを支援



株式会社ユナイテッドアローズ
上級顧問
クリエイティブディレクション担当
栗野 宏文氏

自社工場を持つ老舗のスラックス専門メーカー



株式会社エミネント
代表取締役社長
高野 圭右氏

遠州産地の高密度織物メーカー



古橋織布有限会社
代表取締役
古橋 佳織理氏

「服の鉛筆」をはじめ富山発のサステイナブル経営を目指す



株式会社ミヤモリ
代表取締役社長
宮森 穂氏

〈コーディネーター〉



久米繊維工業株式会社
取締役相談役
久米 信行氏

〈展示〉3社がそれぞれ商品を持ち込み展示